

令和6年度 第2回学校運営協議会 議事録（案）

大阪府立野崎高等学校
校長 田 中 眞

開催日時 令和6年12月6日（金） 15時00分～16時30分

開催場所 野崎高校 校長室

出席者《委員》

中畠 正人 大阪産業大学 入試センター次長
山崎 政範 大阪教育大学 附属学校統括機構特別参与 学長補佐
長谷 敦 大東市立四条中学校長
尾崎 明幸 大東市文化財保護審議会委員
梅本 正直 大東市人権教育指導員 社会教育主事
野村 洋二郎 本校PTA 会長

出席者《事務局》

田中校長 勝村教頭 西田教頭 高須事務長 宮脇首席 大倉教諭
議事録作成：兼本実習教員

【協議資料】

資料1 大阪府立野崎高等学校運営協議会 実施要項
資料2 大阪府立野崎高等学校運営協議会 名簿
資料3-1 授業評価アンケートの結果について
資料3-2 魅力化アンケートの結果について
資料4 生徒の困り感に寄り添う校内セーフティネット
資料5 ～進路指導部～ 野崎高校の進路指導について
資料6 令和6年度 体験入学会「チャレンジ野崎」実施結果
資料7 令和6年度 学校経営及び学校評価

次第（議題）

1. 開会（資料1）
 - ・ 会長挨拶
 - ・ 校長挨拶
 - ・ 出席者紹介（資料2）
2. 第1回授業アンケート・魅力化アンケートの結果と傾向について（資料3）
3. 本校の通級指導について（資料4）
4. 進路指導の状況について（資料5）
5. 広報活動の状況について（資料6）
6. その他
7. 協議（資料7）
8. 閉会

議事録概要

資料確認（パンフレット追加）

《次第》

1. 開会（資料1）
 - 会長挨拶
 - 校長挨拶
2. 第1回授業アンケート・魅力化アンケートの結果と傾向について（資料3－1，3－2）
 - 【校長より】
 - ・ 一人ひとりを大切に作る学校として、背景に寄り添った関係を構築をすることで数値上昇をめざす。
 - ・ 相互の授業を見学するというオープンクラスを実施した。大東市の中学校に案内した結果、校長先生や教諭の方などに来ていただいた。
 - ・ 学力の高い生徒にも満足してもらえるように発展問題を取り入れることを提案している。
3. 本校の通級指導について（資料4）
 - 【事務局より】
 - ・ 校内支援体制の説明、ソーシャルスキルトレーニング実際の様子の視聴【動画】
 - ・ 先日、北大津高校、枚方市教育委員会、小・中学校教員が来校、通級に関する説明等を行った。
4. 進路指導の状況について（資料5）
 - 【事務局より】
 - ・ 主な進路行事
 - ・ 分野別進路説明会やキャリアガイダンスなどの進路行事を行っている。
 - ・ 3年生就職希望者は夏に先生付き添いのもと3つ応募前職場見学を行っている。
 - ・ できるだけ未定をなくせるよう進路未定の生徒に対し声をかけている。

5. 広報活動の状況について（資料6）

【事務局より】

- ・先輩と触れ合うといい学校なのが見える。体験入学会は学校の雰囲気がよくわかる。先生と在校生の関係が良いといったところも見てくれている。
- ・中学校の先生勧められて参加した割合は19%、昨年より向上している。
中学校の先生の言うことは影響力がある。
- ・2月実施の学校説明会は最後の最後まで門戸を開くことで中学校の先生たちに推されて入ってくる生徒を受け入れ卒業させたいと思っている。

【校長より】

- ・今年度に入学の生徒について、現在の状況に関する報告を行うため多くの中学校を訪問した。

6. その他

7. 協議（資料7）

【委員より】

- ・最近学校とは何かを考えることがある。言葉をどう使うのかなど、学校は人間関係づくりを学ぶ場であると思う。
- ・最近の中学生たちの傾向から、自由度の高さがアピールになるのではないか。

【委員より】

- ・校長が教員や生徒に対して否定的なこと言わないから学校の雰囲気が良くなっている。
- ・授業アンケートは好評、生徒の満足度が入学者数増加として実を結べば良いと思う。

【委員より】

- ・家庭と学校と一緒に協力するから意味がある。保護者の影響力は大きいのでPTAと連携した学校の取組みをみんなで考えていきたい。

【委員より】

- ・地元の中学校と高校はお互い歴史があり、野崎高校と深いつながりがある。寄り添ってくれるイメージがある。
- ・昨年度から私立高校が人気になってきた。通信制高校なども増加傾向。その流れはしばらく続くと思われる。

8. 閉会

○校長挨拶

以上